


提出 順番	No. 1	令和 2 年 2 月 19 日 午前・ <u>午後</u> / 時 25 分受領
----------	----------	---

令和2年2月19日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小田 新紀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
教職員ならびに児童生徒の負担軽減策について	<p>近年、教職員の労働時間の増加はもとより、児童生徒の授業数増加など、学校全体における多忙化が大きな教育課題となっています。国においても、改善すべき課題と捉え、文部科学省では様々な負担軽減策を検討し始めております。</p> <p>本町においても学校の多忙化という実態は同様であり、議会の場においても度々議論されてきました。その都度、教育委員会においては、学校現場の負担軽減について努めていく旨の姿勢を示してきましたが、今年度、町内の小中学校においては、ついに長期休業の日数を削減してまでも時数を確保せざるを得ない事態となりました。次年度においても、学校現場では、同様の判断をせざるを得ないとの方向性を示していると聞いています。長期休業中は、児童生徒にとっては、地域や家庭において、学校生活では得られない豊かな体験を積み重ねる貴重な成長の期間であるとともに、教職員においても、通常では取り組むことができない業務や研修を行う期間であります。</p> <p>学校現場においては苦渋の決断であり、豊かな教育活動の推進のためにはかけがえのない期間であるはずの長期休業を削減してまで授業時数の確保に苦悩する近年の状況について、これまでの学校現場の負担軽減策の効果を、町としてどのように判断をしているのか。</p>

	<p>以下のとおり考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 過去3年間における学校現場の負担軽減に向けての取組とその事業評価は。(2) 学校現場が授業時数確保のために苦悩している現状についての評価と、今後の改善に向けた具体的な取組は。(3) 学校現場の負担軽減に向けて、町として国に対して求めていくべきことは。
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。